

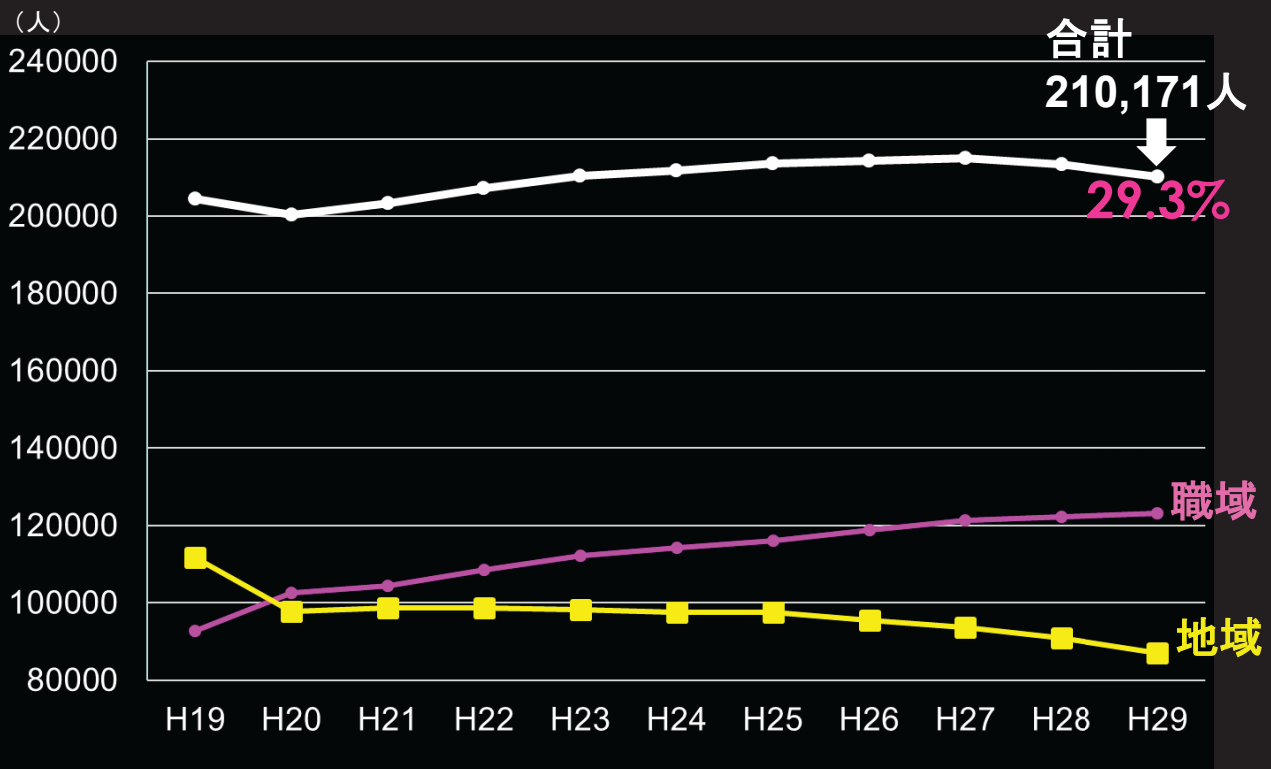
その他 協議事項について

1 職域消化器がん検診の二次精検受診勧奨の推進に関する指導について(大泉委員)

2 地域胃がん検診での70～74歳、75歳～79歳年齢層への受診勧奨への通達に関して
(大泉委員)

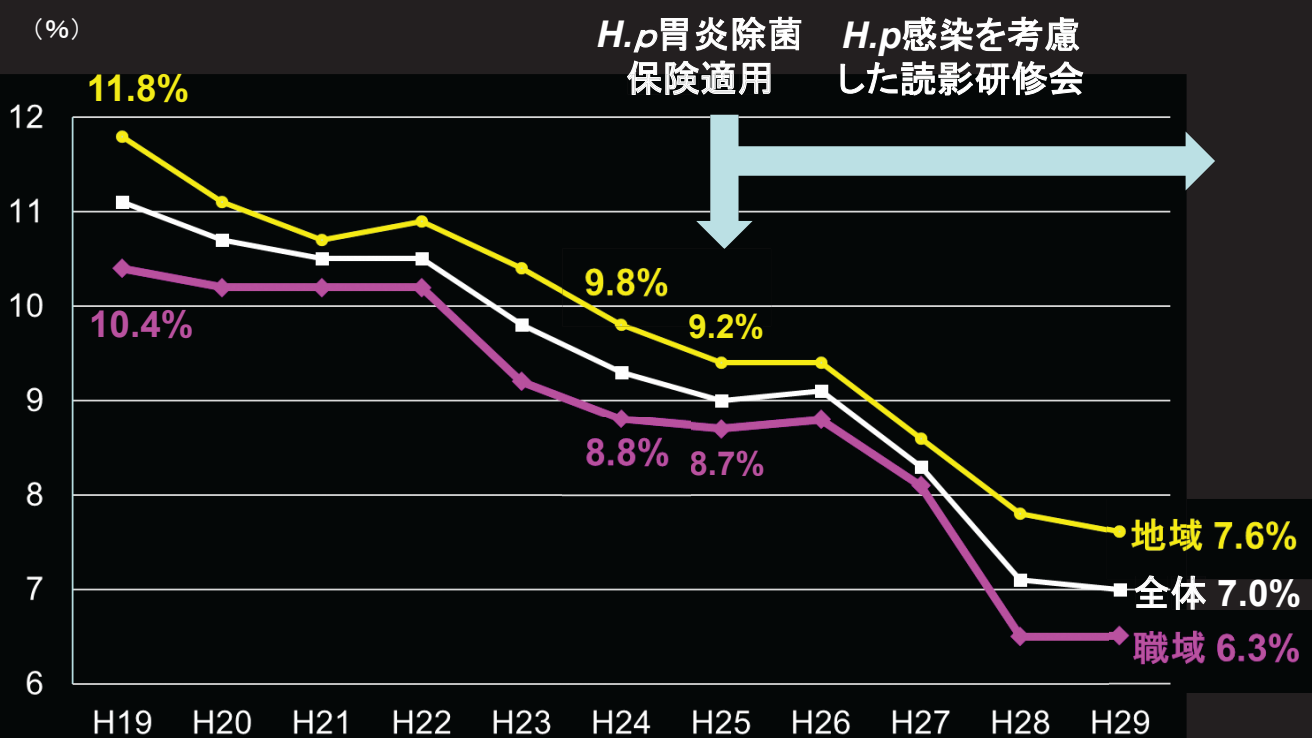
3 大腸がん検診における精密検査の受診勧奨(陽性強度3+の扱い)について(芳賀委員)

山形県の胃がん検診受診者数の推移



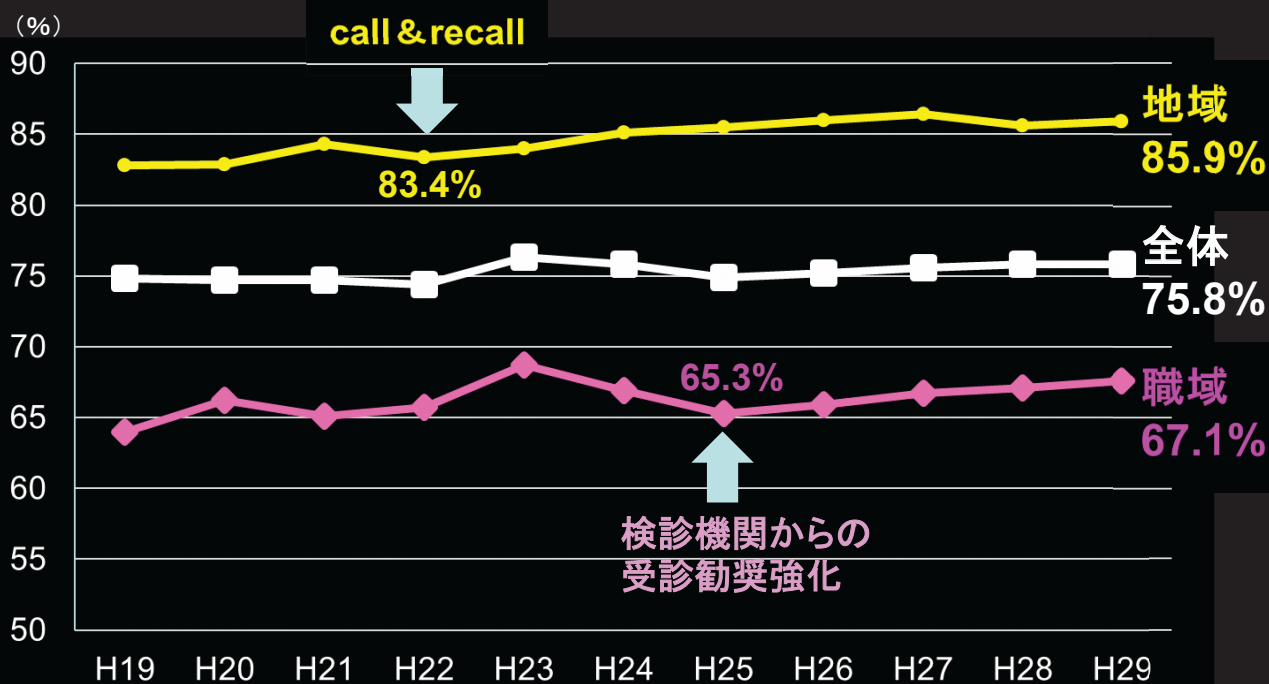
山形県・山形県医師会

山形県の胃がん検診要精検率の推移



山形県・山形県医師会

山形県の胃がん検診精検受診率(地域・職域別)



山形県・山形県医師会

山形県における胃がん罹患数と検診発見胃がん数

	山形市	山形県	男性	女性	検診発見胃癌数	死亡数
2004	315	1,646	1,078	568	246	715
2005	291	1,541	1,005	536	261	693
2006	376	1,705	1,102	603	258	719
2007	405	1,844	1,226	618	264	705
2008	361	1,888	1,252	636	226	699
2009	316	1,800	1,192	608	219	706
2010	340	1,894	1,298	596	218	638
2011	339	1,828	1,216	612	221	707
2012	300	1,750	1,181	569	237	683
2013	370	1,724	1,159	565	245	649
2014	336	1,840	1,207	633	219	683
2015	343	1,751	1,176	575	246	619
2016	?	1,806	1,218	588	184	583
計	4,092	23,017	15,310	7,707	3,044	8,799

検診発見胃癌数/胃がん罹患数=3,044/23,017=13.2% (11.9~16.9%)

山形県における年齢階層別胃がん死亡数と割合

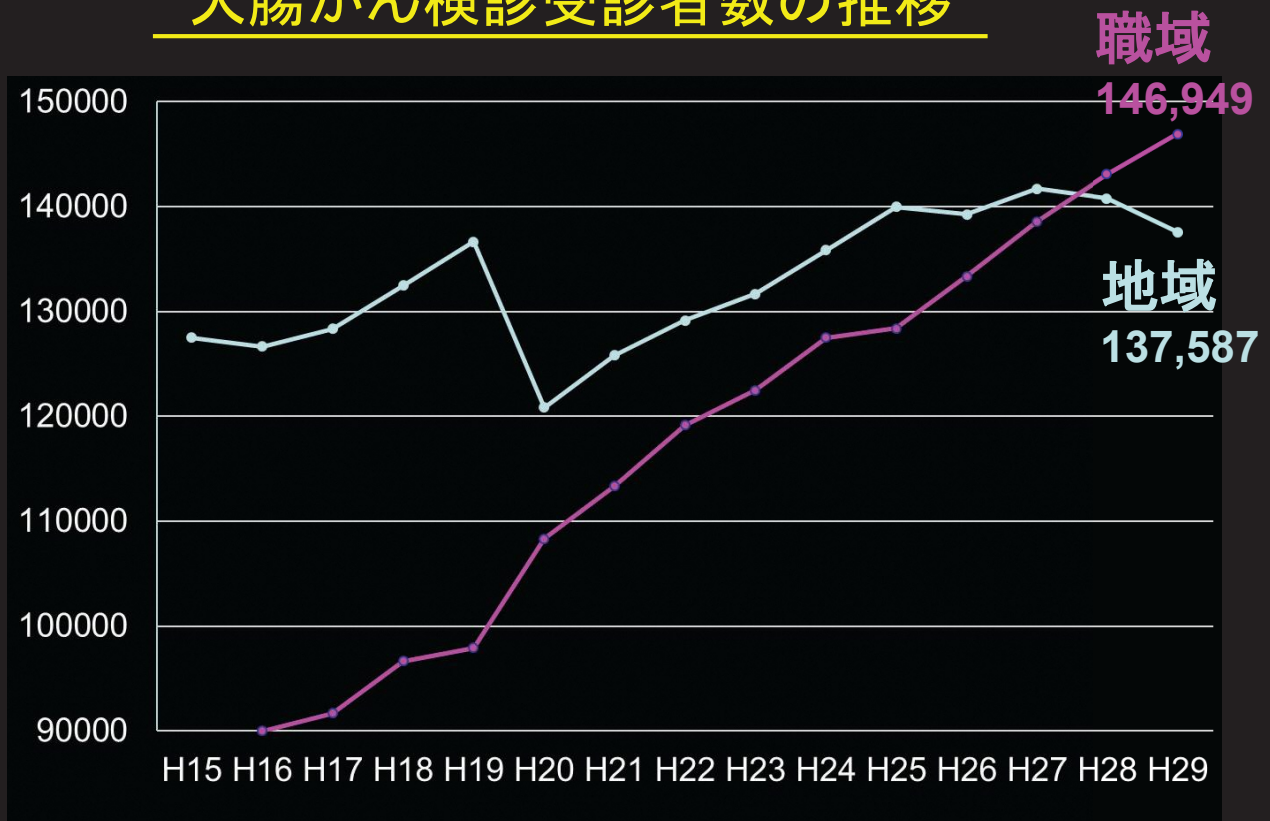
	40～49	50～59	60～69	70～74	75～79	80～	計
2011	12	38	115	65	125	352	707
2012	7	35	103	75	99	364	683
2013	8	40	107	71	103	320	649
2014	15	27	133	71	109	328	683
2015	5	26	96	69	103	320	619
2016	6	20	95	43	69	350	583
計	53	186	649	394	608	2.034	3.924
%	1.4	4.8	16.5	10.0	15.5	51.8	100.0
	32.7				67.3		

山形県における年齢階層別胃がん検診受診率 (%)

	40～49	50～59	60～69	70～74	75～79	80～
2011	37.8	57.9	84.2	37.0	22.8	8.3
2012	37.6	57.1	84.4	37.0	23.0	8.0
2013	41.5	59.3	83.5	37.9	22.7	8.1
2014	42.3	59.2	81.4	35.3	21.2	7.8
2015	42.4	57.1	81.0	32.9	22.1	8.1
2016	40.8	53.5	78.6	34.6	23.0	8.8
2017	39.6	53.7	74.5	35.9	21.9	7.8

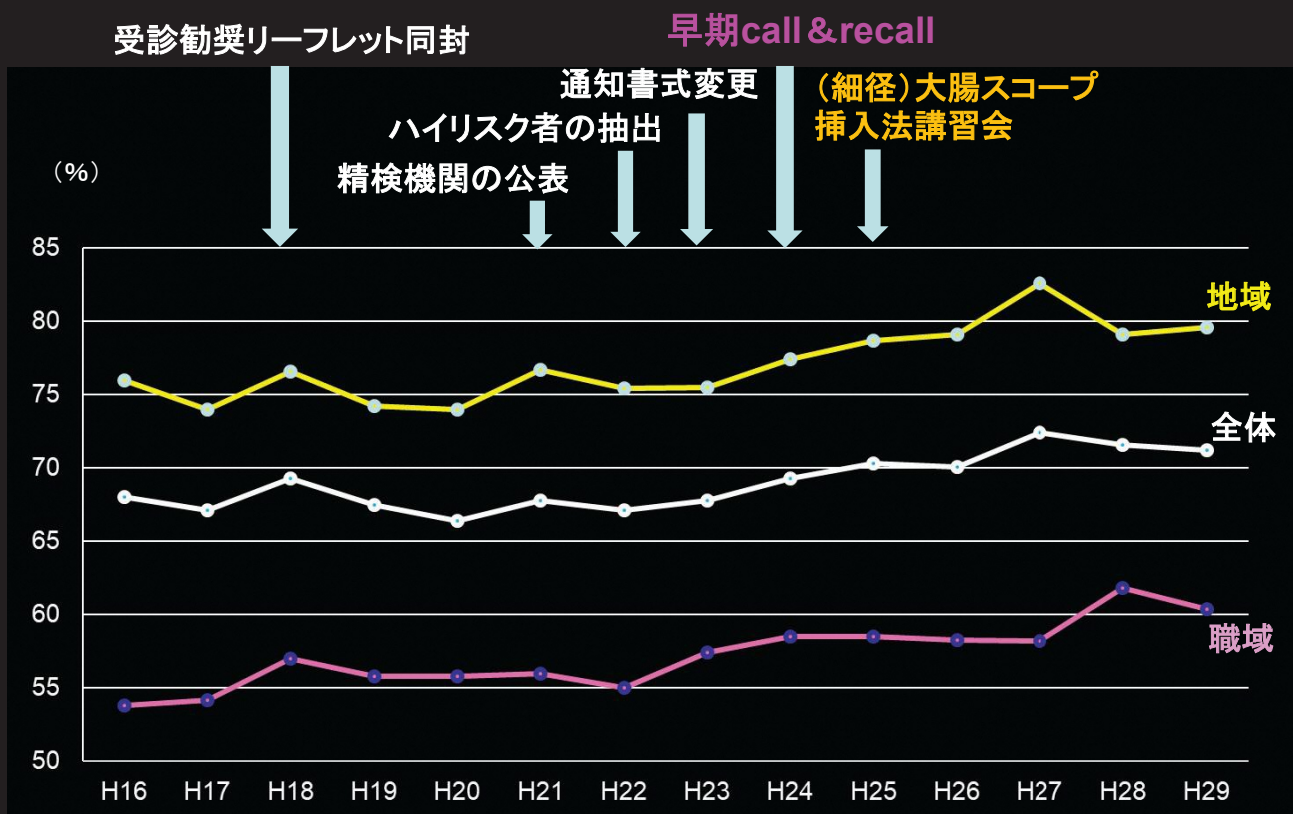
70～79歳の受診勧奨を積極的に推し進めることが重要
ADLが保たれている80歳代前半層にも受診勧奨を考慮

大腸がん検診受診者数の推移



山形県集計

山形県の大腸がん精検受診率



山形県・山形県医師会

がん登録から見た山形県の大腸がん罹患数と検診発見大腸がん数

	山形市	山形県	男性	女性	検診発見大腸癌	死亡数
2004	272	1,158	641	517	254	502
2005	229	1,133	584	549	243	510
2006	246	1,231	700	531	254	433
2007	273	1,313	714	599	332	485
2008	237	1,255	669	586	310	513
2009	239	1,287	732	555	336	470
2010	276	1,744	1,014..	730	326	497
2011	249	1,691	961	730	276	512
2012	266	1,769	1,038	731	345	531
2013	373	1,750	1,012	738	367	533
2014	369	1,724	970	754	407	523
2015	401	1,876	1,030	846	378	521
2016	?	1,525	835	690	353	587
計	3,430	19,456	10,900	8,556	4,181	6,617

検診発見大腸癌数/大腸癌罹患数=4.181/19.456=21.5% (16.3~26.1%)

山形県における年齢階層別大腸がん死亡数と割合

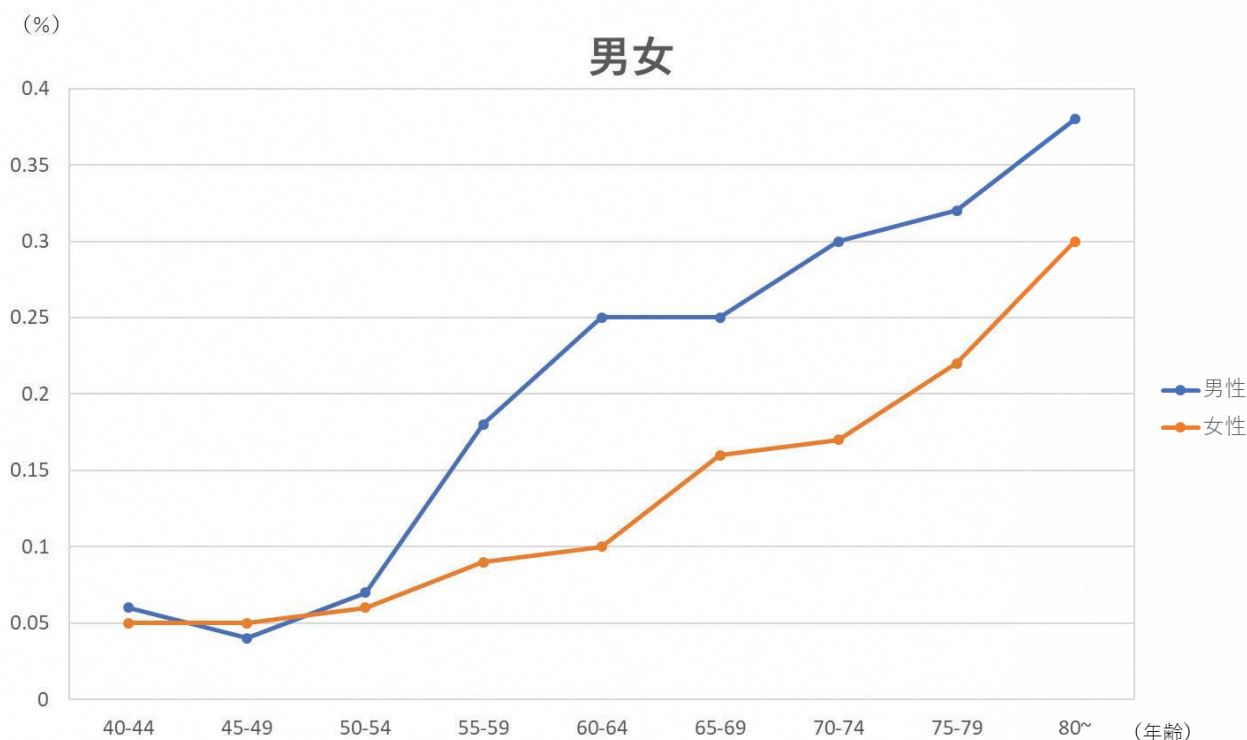
	40~49	50~59	60~69	70~74	75~79	80~	計
2011	12	34	74	47	80	265	512
2012	5	37	89	50	85	265	531
2013	6	33	83	51	75	285	533
2014	10	26	79	50	65	293	523
2015	6	22	66	54	65	308	521
2016	11	25	91	43	63	354	587
計	50	177	482	295	433	1,770	3,207
%	1.6	5.5	15.0	9.2	13.5	55.2	100.0
	31.3				68.7		

山形県における年齢階層別大腸がん受診率 (%)

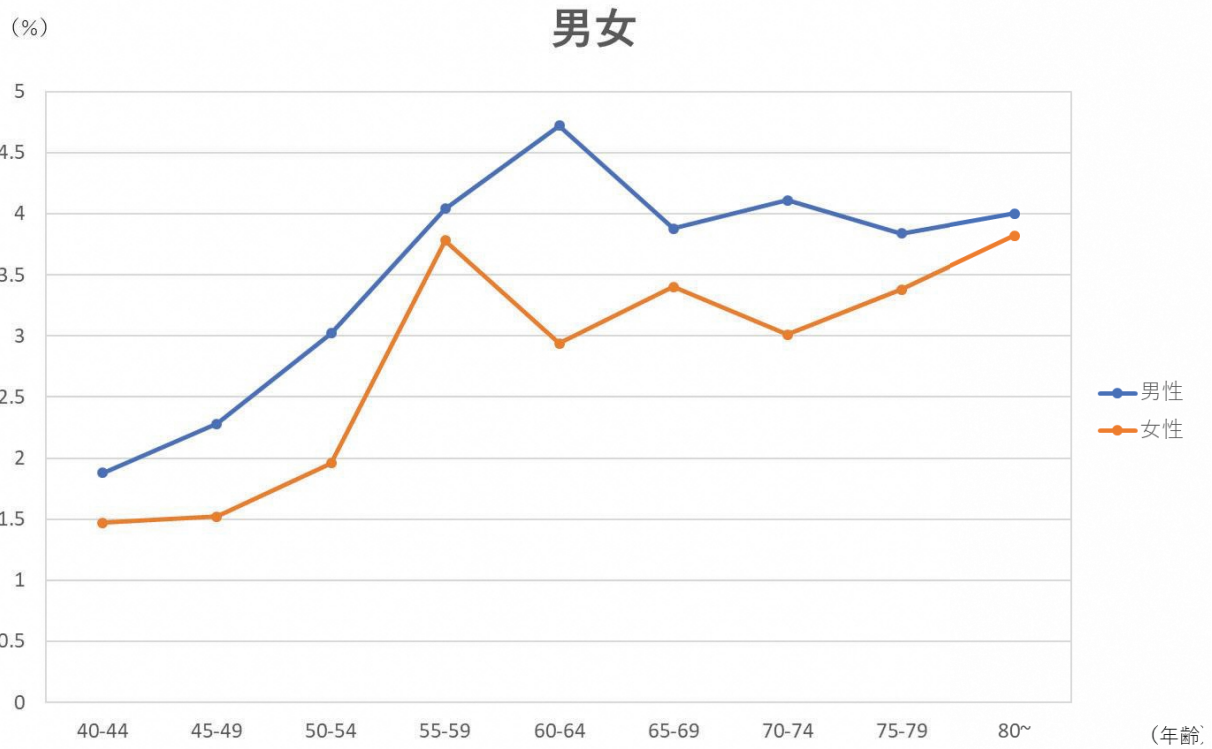
	40～49	50～59	60～69	70～74	75～79	80～
2011	21.8	34.5	52.2	48.5	33.4	14.3
2012	23.5	35.8	53.6	49.6	34.0	14.1
2013	26.2	38.2	54.3	52.3	35.0	14.7
2014	27.5	38.4	54.1	50.0	34.1	14.5
2015	28.3	38.4	55.3	48.9	36.0	15.9
2016	26.6	35.7	55.0	52.5	38.7	17.7
2017	25.1	36.0	53.1	55.6	38.0	16.7

**75～79歳の受診勧奨を積極的に推し進めることが重要
ADLが保たれている80歳代前半層にも受診勧奨を考慮**

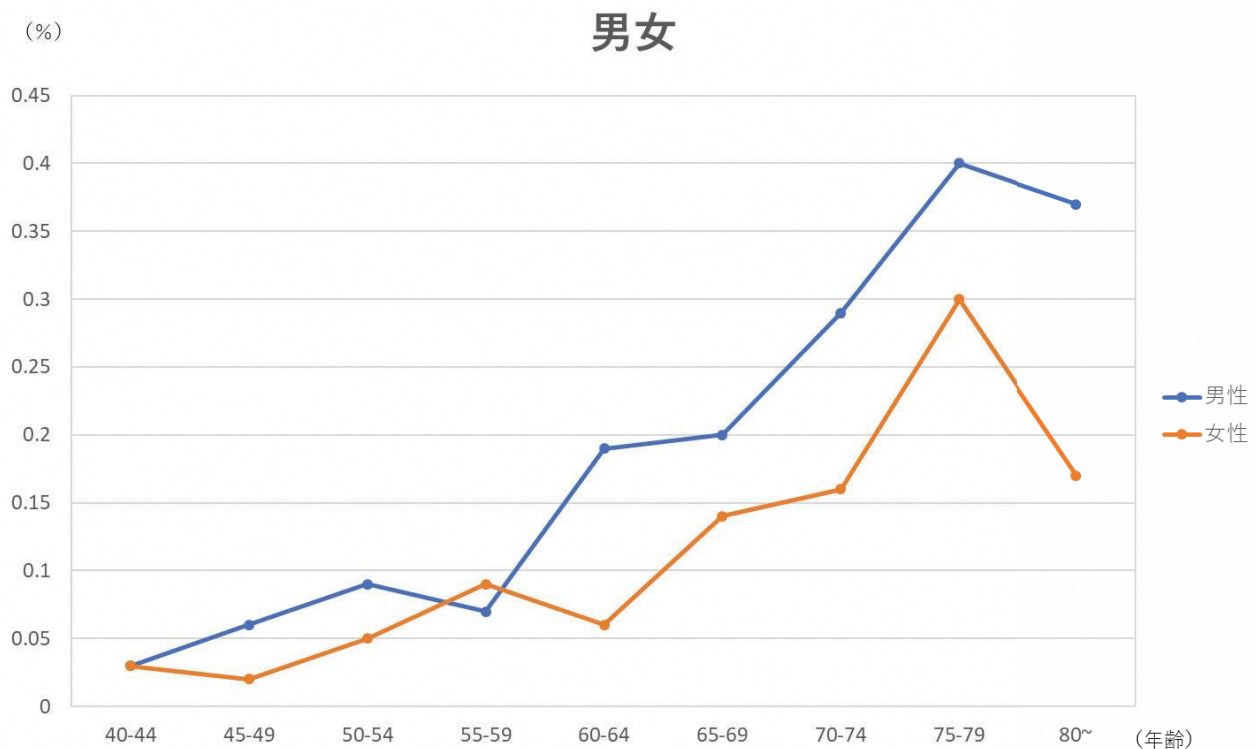
年齢階層別胃がん検診胃がん発見率 (H19～29：住民)



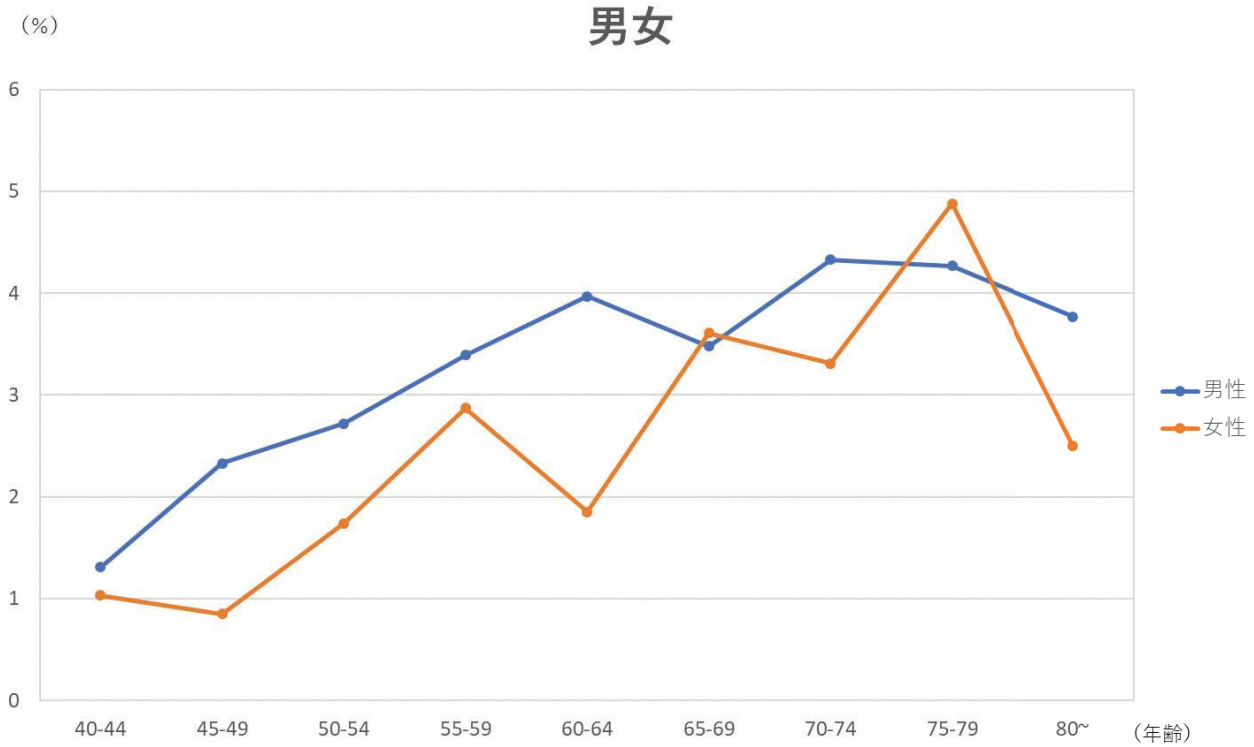
年齢階層別胃がん検診胃がん陽性適中率 (H19～29：住民)



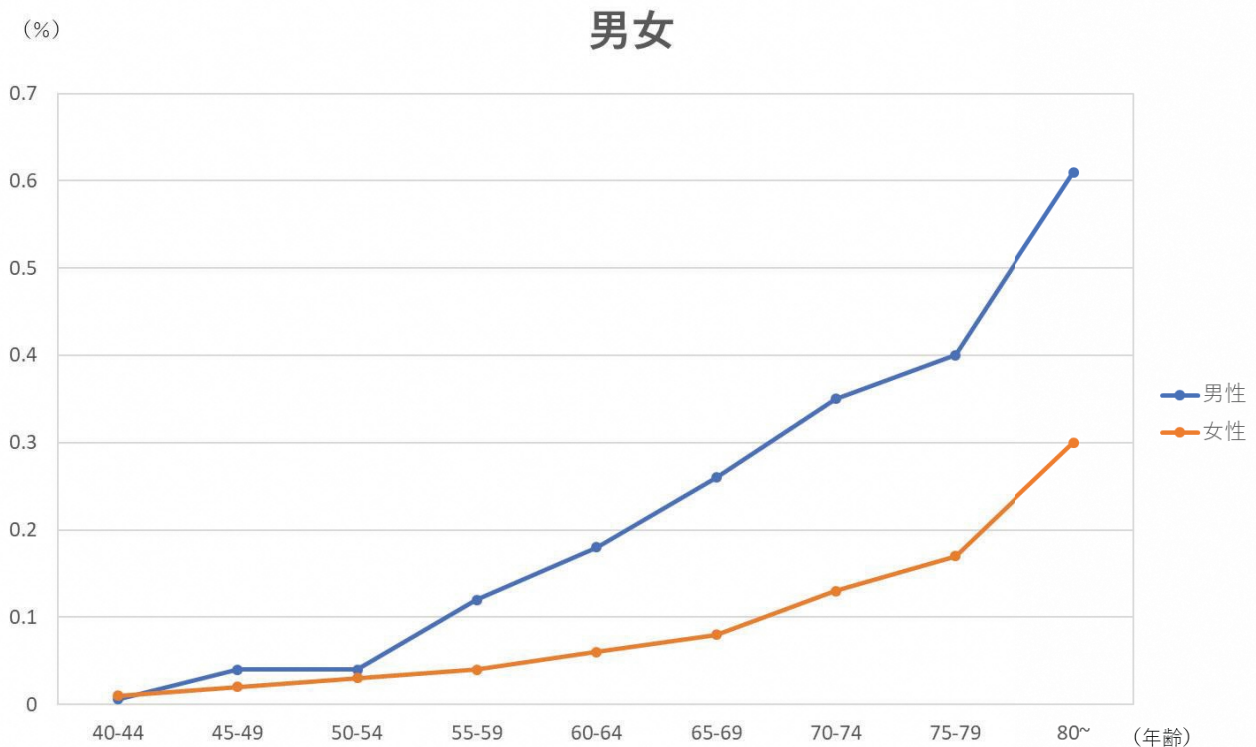
年齢階層別胃がん検診胃がん発見率 (H19～29：職域)



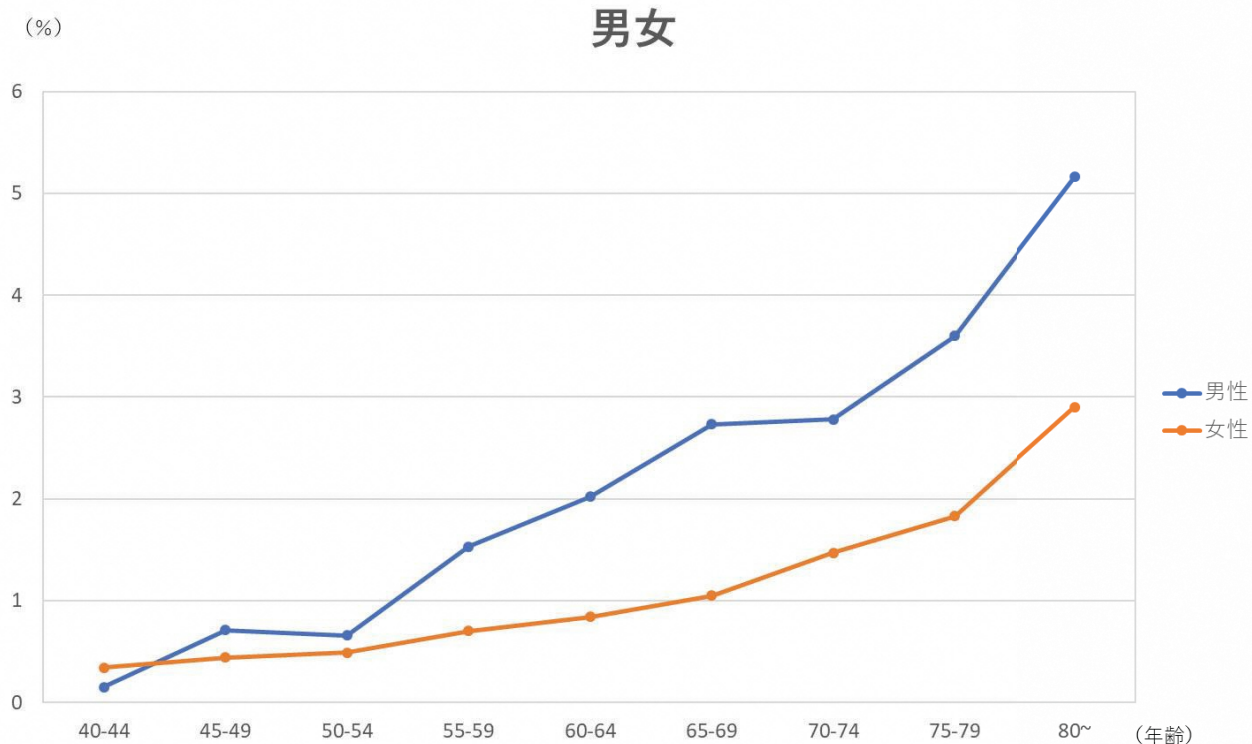
年齢階層別胃がん検診胃がん陽性適中率 (H19~29：職域)



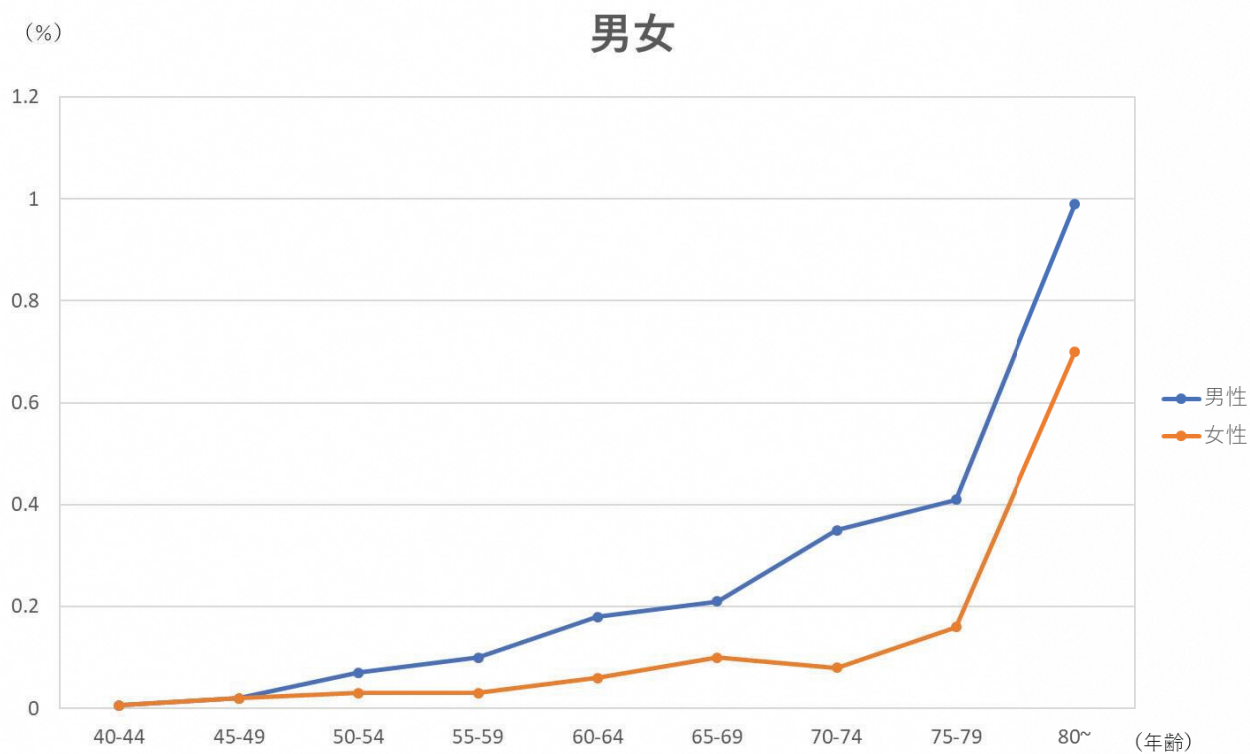
年齢階層別大腸がん検診大腸がん発見率 (H19~29：住民)



年齢階層別大腸がん検診大腸がん陽性適中率 (H19~29：住民)



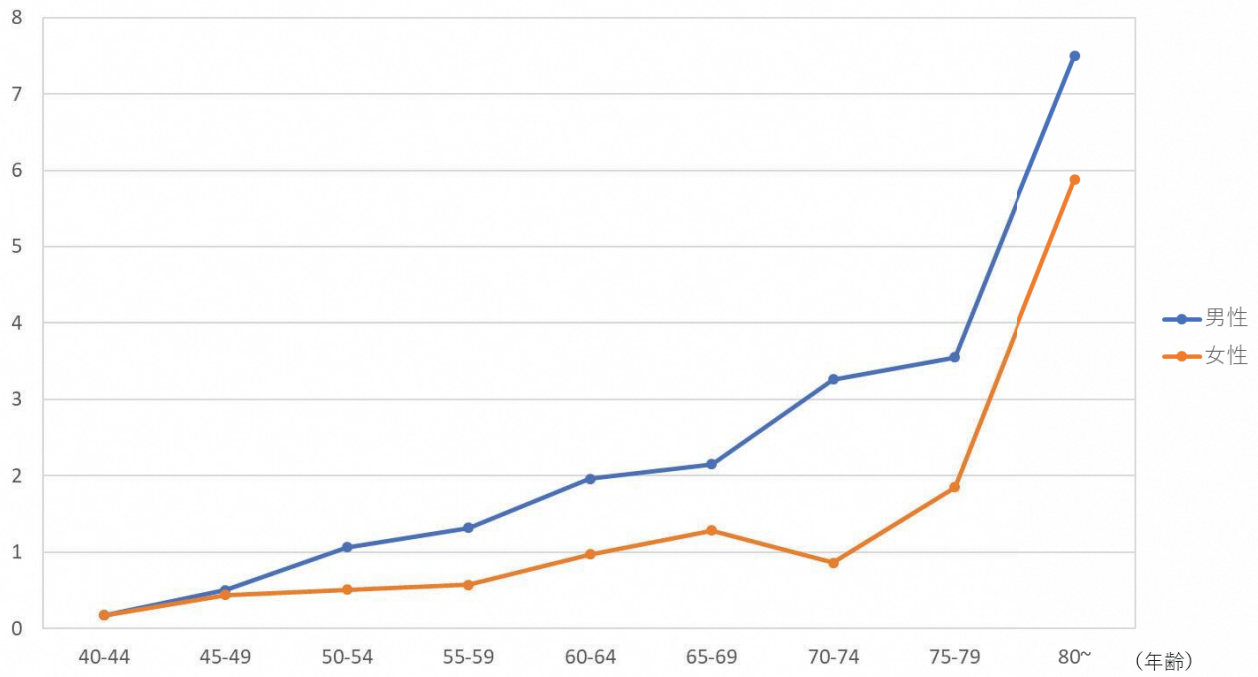
年齢階層別大腸がん検診大腸がん発見率 (H19~29：職域)



年齢階層別大腸がん検診大腸がん陽性適中率 (H19~29：職域)

(%)

男女



便潜血反応強陽性者の実施条件

※地域・職域ともすべて推奨条件に変更となった。

		要精検者数(A)	強陽性者数(B)	精検受診者数(C)	Cのうち がん確定数(D)
			B/A	C/B	発見率D/B
山形C	地域	1,400	323 23.1%	275 85.1%	29 9.0%
	職域	690	144 20.9%	118 81.9%	9 6.3%
庄内C	地域	1,223	214 17.5%	182 85.0%	8 3.7%
	職域	709	25 3.5%	20 80.0%	2 8.0%
最上C	地域	738	52 7.0%	39 75.0%	4 7.7%
	職域	403	16 4.0%	9 56.3%	2 12.5%
米沢C	地域	245	79 32.2%	63 79.7%	5 6.3%
	職域	396	39 9.8%	30 76.9%	1 2.6%
南陽C	地域	726	228 31.4%	205 89.9%	9 3.9%
	職域	457	18 3.9%	8 44.4%	1 5.6%
合計	地域	4,332	896 20.7%	764 85.3%	55 6.1%
	職域	2,655	242 9.1%	185 76.4%	15 6.2%

	平成30年度			令和元年度		
	検診受診 市町村数	うち 勧奨実施 市町村	うち実施条件内訳	うち実施条件内訳		
山形C	9	9	6 3	一日3+ or 両日+以上 両日+以上	7 2	一日3+ or 両日+以上 両日+以上
			職域(各センター保健師対応)		一日3+ or 両日+以上	一日3+ or 両日+以上
庄内C	3	3	1 2	両日 3+ 両日 +以上	3	両日+以上
			職域(各センター保健師対応)		両日 3+	両日 +以上
最上C	8	8	3 5	両日 +以上 両日 3+	8	両日 +以上
			職域(各センター保健師対応)		両日 3+	両日 +以上
米沢C	1	1	1	一日3+ or 両日+以上	1	両日+以上
			職域(各センター保健師対応)		両日 +以上	両日 +以上
南陽C	6	6	6	一日3+ or 両日+以上	6	一日3+ or 両日+以上
			職域(各センター保健師対応)		両日 3+	両日 +以上

※赤字…推奨条件ではない条件

令和元年9月末日まで把握された総数。

大腸②

大腸がん検診成績 (H25~H29, 山形市医師会健診センター)

		要精検者数	精密検査受診者数	精密検査受診率(%)	がん発見数	がん適中率(%)	早期	進行	不明
総計		9768	6856	70.2	191	1.96	96	31	64
二本とも陽性		2679	1285	76.5	99	5.90	41	21	37
内訳	3+ 3+	298	208	69.8	41	13.76	13	10	18
	3+ 2+	330	241	73.0	19	5.76	10	2	7
	3+ +	136	104	76.5	7	5.15	2	2	3
	2+ 2+	400	319	79.8	17	4.25	9	4	4
	2+ +	351	282	80.3	9	2.56	3	3	3
	+ +	164	131	79.9	6	3.66	4	0	2
一本のみ陽性		8089	5571	68.9	92	1.14	55	10	27
内訳	3+ -	1188	826	69.5	17	1.43	9	1	7
	3+ 未	131	66	50.4	3	2.30	0	0	3
	2+ -	3277	2299	70.2	35	1.07	25	4	6
	2+ 未	261	160	61.3	1	0.38	1	0	0
	+ -	3036	2110	69.5	34	1.12	20	4	10
	+ 未	196	110	56.1	2	1.02	0	1	1

大腸がん検診成績 平成25～28年度（地域住民）

やまがた健康推進機構

全体	要精検者数 A	精検受診者数 B	精検受診率 B/A	がん発見数 C	陽性反応適中度(%) C/A
合計	18,518	14,840	80.1	514	2.78
2日分陽性	3,573	2,931	82.0	274	7.67
3+ 3+	596	491	82.4	119	19.97
3+ 2+	643	519	80.7	60	9.33
3+ 1+	240	200	83.3	13	5.42
2+ 2+	832	682	82.0	46	5.53
2+ 1+	850	703	82.7	25	2.94
1+ 1+	412	336	81.6	11	2.67
1日分陽性	14,945	11,909	79.7	240	1.61
3+ -	1,886	1,580	83.8	36	1.91
3+ 未	288	206	71.5	16	5.56
2+ -	5,768	4,607	79.9	103	1.79
2+ 未	640	467	73.0	11	1.72
1+ -	5,843	4,668	79.9	64	1.10
1+ 未	520	381	73.3	10	1.92

市町村がん検診担当課長 殿

山形県健康福祉部
健康づくり推進課長

大腸がん検診における精密検査の受診勧奨について

本県の保健行政の推進につきましては、日頃より格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、去る平成31年3月8日に開催しました平成30年度山形県生活習慣病検診等管理指導協議会の消化器（胃がん、大腸がん）部会において、下記の助言をいただきましたので、今後の受診勧奨の取扱いにあたっては御留意くださるようお願いいたします。

記

【助言内容】大腸がん検診精密検査対象者に対する受診勧奨について

要精検者全員について精密検査を受診することが望まれるものの、現実には達成されていない。したがって、よりリスクの高い要精検者を選択し、強い受診勧奨を行うことは一定の意義があると考えられる。実際、平成22年3月31日付け山形県健康福祉部保健薬務課長通知及び平成30年3月28日付け山形県健康福祉部健康長寿推進課健康づくりプロジェクト推進室長通知により、リスクの高い要精検者には、「すみやかに受診勧奨のうえ必ず受診されるよう強く働きかけていただきたい」（特急などの扱いで、早急の受診を勧める）という助言を行っているところである。

そのうえで「陽性強度3プラス(+++)、及び2日間陽性を高リスク者とし、それらの者全てに対して強い受診勧奨が望ましいものの、その対象者が多いために対応に困難を来すという場合には、2日間陽性者に対して重みをもって対応しても良い」としている。

しかしながら、今回の助言では、2日間陽性であった者を高リスク精検対象者として、すみやかに強い受診勧奨をすべきとし、1日だけ3+（1日だけの提出者も含む）の場合には、今後強い受診勧奨の対象とは必ずしもしないこととした。

その理由を二つ挙げるとすれば、1)強い受診勧奨対象者を約30%軽減できることと、2)便潜血検査と陽性反応的中率を比較（山形市医師会健診センターの9,768人の集計（平成25～29年）より）すると、1日だけ3+の陽性反応的中率は2%前後であり、決して高くないことが示されたことによる。

なお、引き続き3+陽性者に対して、すみやかに強い受診勧奨をすることを妨げるものではない。また、要精検者全員が受診するよう、引き続き受診勧奨の推進に取り組んでいただきたい。

担 当	山形県健康福祉部健康づくり推進課 がん対策専門員
	〒990-2292 山形市大字青柳1800 (県立中央病院 がん・生活習慣病センター内)
電 話	023-685-2752
ファックス	023-685-2605